



赤嶺ヶ丘

12月号 平成28年12月16日(金)発行

〒894-0622 奄美市笠利町大字笠利1924番地 TEL 0997-63-8114



文責：生徒達の頑張りに、もっともっと自分も頑張らなければ・・・との想いを強く持った幸田

2学期も無事終了しました。保護者・地域の皆さんご協力、応援ありがとうございました！

校長 曾木與英

いよいよ今年も残り少なくなりました。2学期は実り多い学期となるように、多くの行事等が実施されました。保護者、地域の皆さんのご協力、ご支援、ご鞭撻のおかげで、無事2学期を終了することができそうです。ここに厚く感謝、お礼申し上げます。本当にありがとうございました。

2学期は、地域の皆さんが大変楽しみにしておられる体育大会や文化祭、中体連新人大会、校内ロードレース大会など多くの行事がありました。それぞれの行事に生徒達は、全力で取り組み、一つ、一つの過程を先生方の指導のもと生徒会を中心にゆっくり、確実に、創り上げ、最後の仕上げの段階では相当のプレッシャーを感じ、ストレスにさらされながらも、悩み、葛藤などの壁を乗り越えて行きます。本番当日、日頃の練習の成果を出し切り、燃え尽くした生徒一人一人の顔は充実感に溢れ、自信に満ち溢れています。生徒の皆さんは、この2学期にこれらの多くの行事を創る過程の中で、はかり知れない多くの感動や試練、難儀を体験し、それを乗り越えることにより大きく成長し、試練から逃げださずに努力することにより目的を達成できた喜びを味わうことができました。

さて、いよいよ冬休みが目前です。1年間の最後とスタートを同時に味わうことができる格別な時期です。感性が敏感になり、何事にも素直になれるすばらしい成長の期待できるこの休みに、1年間の生活について前向きに反省するとともに、新しい年の目標を決め、将来への夢と希望をもって大きなステップにして欲しいです。

3年生は、3者相談も終わり、いよいよ進路決定をしなければならない時期になりました。十分にご家庭でも話し合いをし、後悔のないように進路決定をして下さい。どんな進路に進むにしろ、基本は、一途に打ち込む、努力を惜しまない、基礎・基本をしっかりと定着させることです。どの生徒もしっかり進路を決定できるよう心から期待しています。合格を心から祈っています。

最後まで走った校内ロードレース大会

12月10日(土)恒例の校内ロードレース大会を、絶好のロードレース日和のコンディションの中、開催できました。男子が最初にスタートし、次ぎに女子がスタートしました。一人一人真剣に自分のペースを守り走っていました。友達や保護者、地域の方々応援を背中に受け、苦しい表情ながらも一生懸命走っている姿を見て、子ども達から元気や感動を一杯もらいました。そして、何より嬉しかったことは全員の生徒が完走したことです。中にはこの大会に並々ならぬ意気込みをもって臨んだ生徒もおり、日頃の練習の成果を十分に発揮できた生徒や最後の最後まで自己の持つ力を振り絞って倒れ込むようにゴールした生徒が多数見受けられ、本校の生徒のたくましさや強さなど日頃なかなか見せない一面を一杯発見できました。また、自分よりあとからゴールする友だちにみんなで大きな声援をおくっていました。今回のロードレース大会から、多くの教訓を学ぶことができたと感じます。小規模校ながら、笠利中学校は文武両道、感動一杯の学校づくりに生徒全員が頑張っています。これからも、多くの元気・感動を地域の皆さんに届けられるように頑張っていきますので来年もさらなるご協力、ご支援、ご鞭撻をどうかよろしくお願ひ申し上げます。

P.T.A保体部・保護者の皆さんには、交通整理等多くの安全上の配慮をしていただきありがとうございました。また応援を頂いた保護者・地域の皆さんにもお礼申し上げます。



優勝	
1年男子	濱崎 圭吾
1年女子	中野 瑠香
2年男子	丸田 晴樹
2年女子	永田 佳代
3年男子	日高 拓海
3年女子	平田 葉月
躍進賞	
	坂元 勇氣
	安田 悠里

躍進賞：2・3年生を対象に、昨年度の記録に対し、最もタイムを縮めた生徒に贈られます。

スマホ・ケータイ安全教室が行われました！！

黒電話→プッシュホン→ポケベル→ガラケー→スマホと、科学技術進化に伴い、情報通信機器もこの20年で大きく変化しました。と、同時にネットいじめやスマホ依存など昔は考えられなかったような社会問題が顕在化するようにもなりました。自分の身は自分で守るかしかないという観点から、本年度、スマホ・ケータイ安全教室を実施しました(12月3日)。当日は福岡から講師の先生が来られ、自分のわいせつな画像を「送らない」「撮らせない」「自画撮りしない」の3ない運動や、スマホとの正しい向き合い方を教えて頂きました。さすが専門家・・・。話には現実性があり生徒たちは食い入るように話を聞いていました。



食に関する指導が行われました！！

「自分の食生活に関心を持ち、自己の食生活を振り返る」「自分の食事に不足している食品を見つけ出し、改善する」等を目的として、各学年で食に関する指導を実施しました。笠利学校給食センター栄養教諭の長畑先生(赤木名小学校所属)をお迎えし、給食の献立を6つの食品群に分類したり、自分の食べている食事に不足している栄養素を考えたりしました。普段何気なく食べている給食も、栄養素やカロリーを考え作られていることも学習しました。育ちざかりの中学生。自分の体を作る「食べ物」を見つめなおす良い機会となりました。



教育記念講演会が行われました！！

12月8日、赤木名中学校に講演日本一の古市佳央先生をお迎えし、ライオンズクラブ主催の、教育記念講演会が行われました。古市先生は16歳の春に交通事故に合い、全身に41%もの火傷を負いながらも33回の手術を受け、23歳で社会復帰。ご自身の経験を基に様々な観点から全国で講演活動に取り組んでいらっしゃる先生です。「価値観が異なる人が世の中にいるからこそ、自分を助けてくれる人がいる」、「周りに笑顔を振りまくことで、周りの人が幸せになっている」「ないものねだるのではなく、いまある、当たり前のご感謝し、それこそが幸せである」等々、約90分間の講演でしたが、心に突き刺さるフレーズがたくさんありました。中でも、「ダメだ、だめだ。もっと頑張れ！！」ではなく「頑張ったね・・・お疲れさまね・・・」この一言で救われる人が周りには溢れている・・・という言葉、大人に呼びかけているのかなと、一瞬「ドキリ」とする瞬間でした。公演後は涙する生徒も多く、大変貴重な講演会になりました。



平成28年度家庭の日標語コンクール

2年生の中 琴音さんが作成した標語が、鹿児島県内約7000点以上の応募の中から、中学生部門3位に相当する、優良賞を受賞しました！！

優良賞 2年 中 琴音
おめでとう！

家族って
たいせつなんよ
いつまでも・・・

ほっこりしました・・・

上記にあるように、3日、スマホ・ケータイ安全教室が実施されました。講話の後、講師の先生は3年生と給食を共にしました「出会いにカンパニー！」から始まり、給食後はお別れの歌を歌いました。講師の先生は涙・また、涙・・・。空港までの道中も「年間100校ほど周っていますが、こんなに素晴らしい学校はなかなかありません。プライベートでも是非訪れたいと思います」と、涙ながらに語られていました。「笠利中生の素晴らしい一面をまたみることができた」と、ほっこりした一日でした・・・。

12月・1月の主な行事

12	15 木	中学校入学説明会	12	22 木	終業式・美化作業・職員会議	1	11 水	ノ一部活デー・3年実力テスト
	17 土	青少年育成の日		28 水	仕事納め		14 土	土曜授業
	18 日	市民清掃・家庭の日	1	4 水	仕事初め		15 日	家庭の日・市民清掃の日
	21 水	ノ一部活デー・職員会議		10 火	始業式・3年実力テスト		18 水	1・2年度鹿児島学習定着度調査